

平成 29 年度 第 2 回日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 28 年 3 月 23 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：畝本 恭子（委員長）、田中 裕（担当理事）、阿南 英明、岡田 昌彦、小澤 昌子、
木田 真紀、木田 佳子、木村 昭夫、並木 淳、本多 ゆみえ
七戸 康夫（新委員）、 番匠谷 友紀（新委員）

欠席：角 由佳、長谷 敦子、並木 みずほ、矢口 有乃

議題

1. 前回議事録の確認

2. 委員会活動の今後について

- 地方会を通じて活動を広げる（地方会学術集会での企画、講演会など）

2017. 2. 27 日本委員会評議員会での委員会報告（資料 1）

- 地方会へのアプローチ：

➢ 報告：2 月の関東地方会でのパネルディスカッションでの企画支援、参加

➢ 今後の方向性：

☆ 地方会は会長、総会は学会主導でプログラムが作られる。画一的に地方会に男女参画委員会の枠を入れるのは難しいのか。地方会に関して、お願いの手紙を書くのはよいが、学会誌に地方会のプログラム（男女参画企画を取り入れた）を掲載すれば、他の大会長もプログラムに入れてくれるのではないか。

☆ 地方会で何をするのか。具体的な方法を考える必要がある。各施設の管理者？が参加するような枠を作らなければオーディエンスが増えない

☆ コンテンツを作ることも必要か

3. 第 45 回日本救急医学会総会・学術集会における当委員会の活動

- 学術集会ありかた委員会では男女参画が継続テーマ
- 委員会企画（資料 2）

各施設の管理者が労務教育も受けていない：ここを今回の企画テーマに

各施設長に来場いただくことが必要；指導医セミナーなどにさせていただく。

総会のテーマと呼び込み文（演題募集文）

- ① パネルディスカッション うまくいっている施設、うまくいっていない施設
管理者として出来る事・出来ない事 ボスに語っていただきます！！
救急は本当に 3K か
男女参画への取り組み ボスの本音・施設運営の理想と現実

本パネルでは各施設のボスに参加していただき、施設の出来る事出来ない事、ボスの本音を語っていただきます。

●

4. 委員会規則の文言について

- 第1条の委員会の名称については2014年に変更されているが、第2条の内容は‘本委員会は女性救急医が就労・学術活動を継続できる…’となっている。
変更の必要性について協議